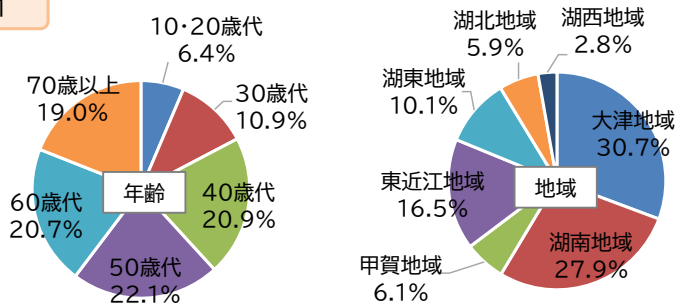


基本情報

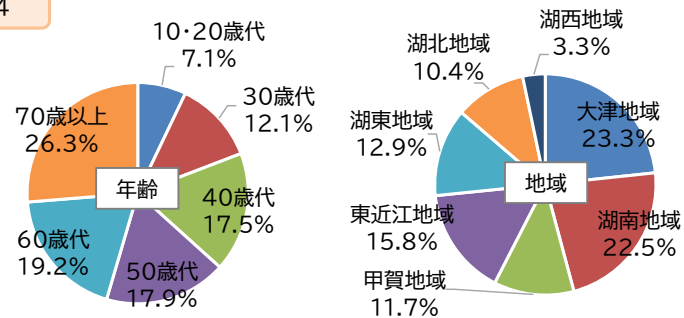
	R1年度実施	R4年度実施	R5年度実施
調査時期	10月	11月	11月
対象者 (県政モニター)	399人	297人	295人
回答数	358人 (回収率 89.7%)	240人 (回収率 80.8%)	262人 (回収率 88.8%)

※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合があります。

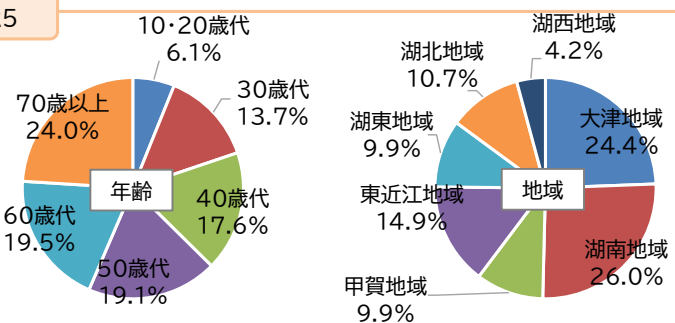
R1



R4

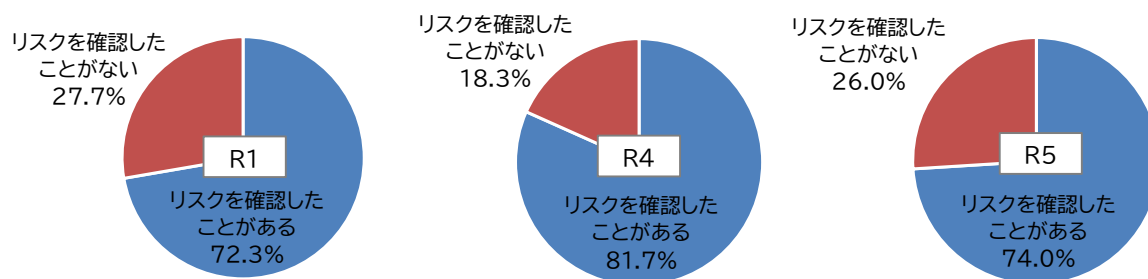


R5



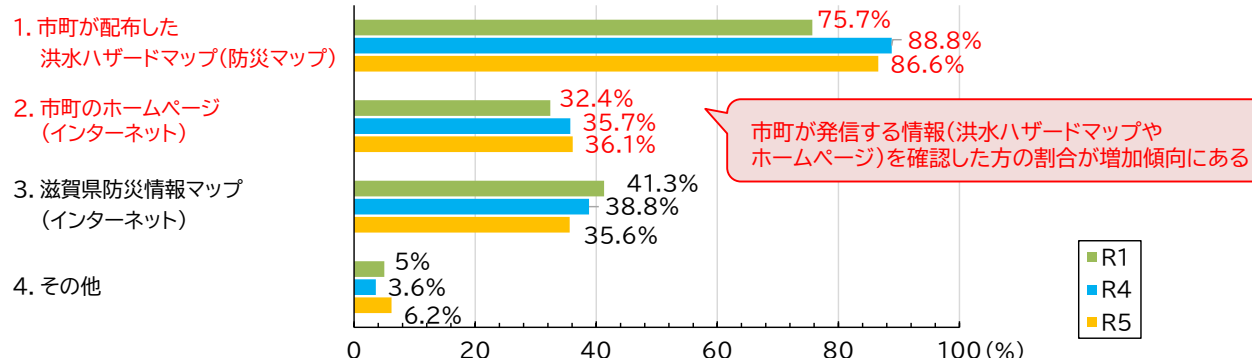
アンケート【問1】

近年、全国各地で水害や土砂災害が毎年発生しており、報道等により事前にリスクを確認するよう広報されていますが、あなたはご自宅のリスクを確認したことがありますか。(単一回答)



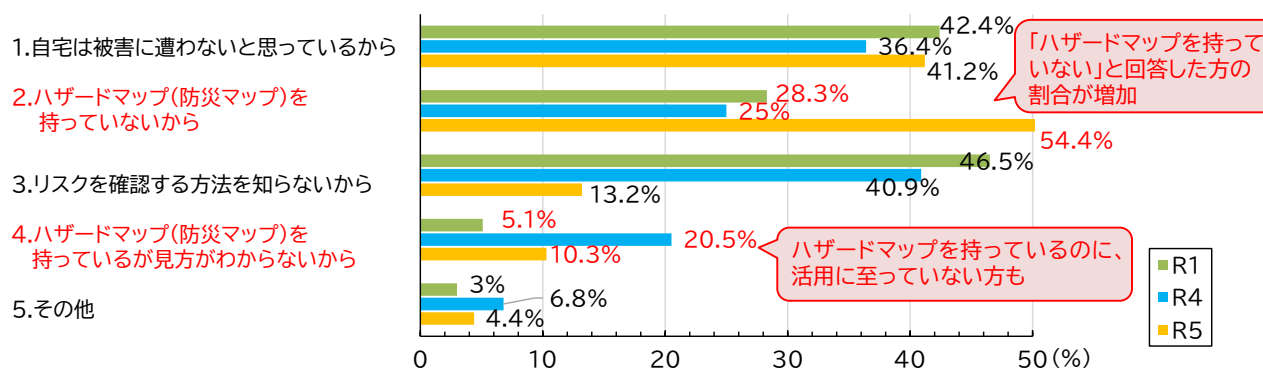
アンケート【問2】

問1で「リスクを確認したことがある」と回答された方にお聞きします。それはどのような方法で確認しましたか。(複数回答)



アンケート【問3】

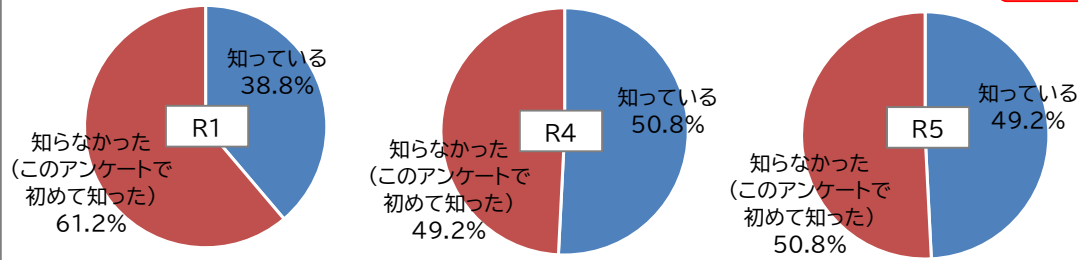
問1で「リスクを確認したことがない」と回答された方にお聞きします。自宅のリスクを確認しない理由は何ですか。(複数回答)



豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果(抜粋)

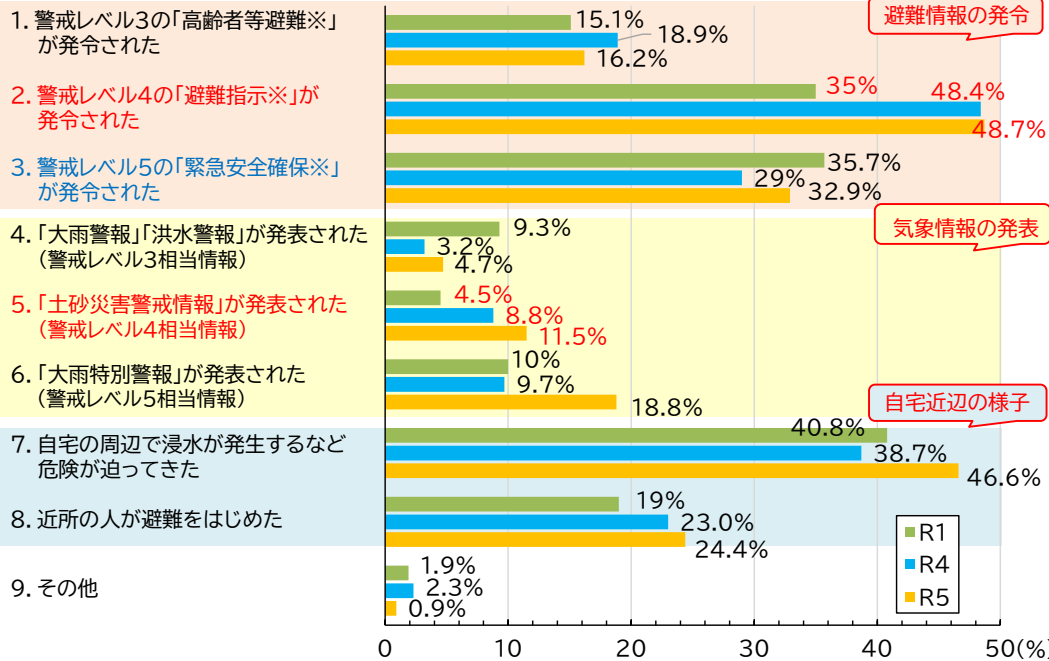
アンケート【問4】

滋賀県では、大きな河川の氾濫だけではなく身近な水路や小河川の氾濫も含めた「地先の安全度マップ」という水害リスク図を公表しています。あなたは、「地先の安全度マップ」を知っていますか。(単一回答)



アンケート【問5】

豪雨により自分の周りで水害や土砂災害の危険性が高くなってきた場合、「指定された避難場所に避難する」「家の2階以上に垂直避難する」「避難場所にこだわらず安全な場所(親戚の家等)に避難する」と回答された方にお聞きします。避難を開始するタイミングについて、お考えに最も近いものを選んでください。(複数回答)



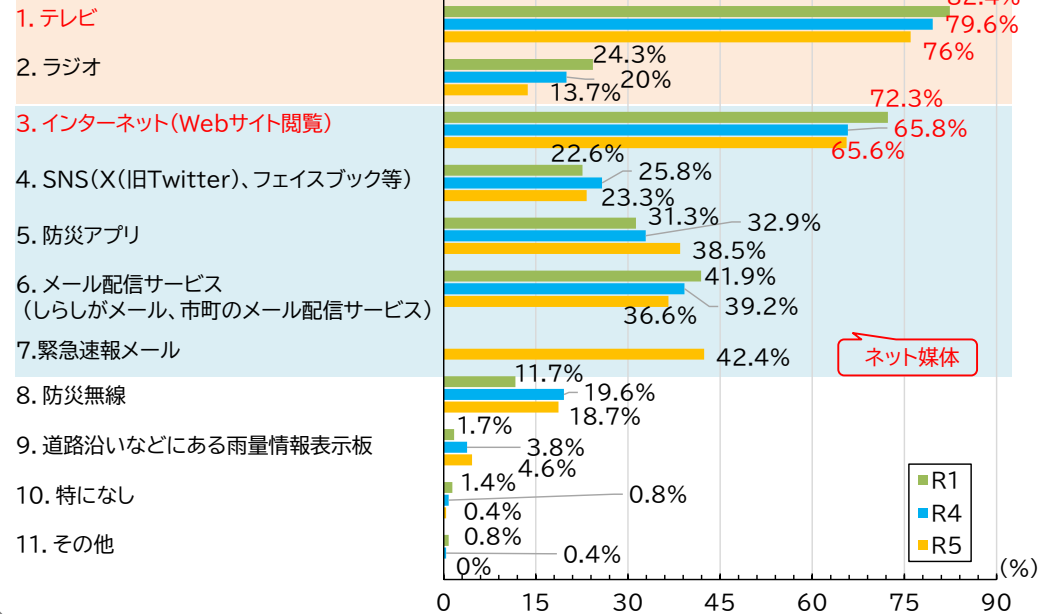
選択肢2と3の両方に回答した方の割合は、R4は8.7%でR5は11.8%でした。また、選択肢2には回答せず選択肢3に回答した方の割合は、R4は17.4%でR5は17.6%でした。
→「避難指示※」の発令や「土砂災害警戒情報」の発表をもって避難開始のタイミングを判断している方の割合が増加傾向にある一方で、「緊急安全確保」の発令を待ってから避難すると考える方の割合は横ばいです。

※ R1実施時は、警戒レベル3:「避難準備・高齢者等避難開始」、警戒レベル4:「避難勧告」、警戒レベル5:「避難指示」

アンケート【問6】

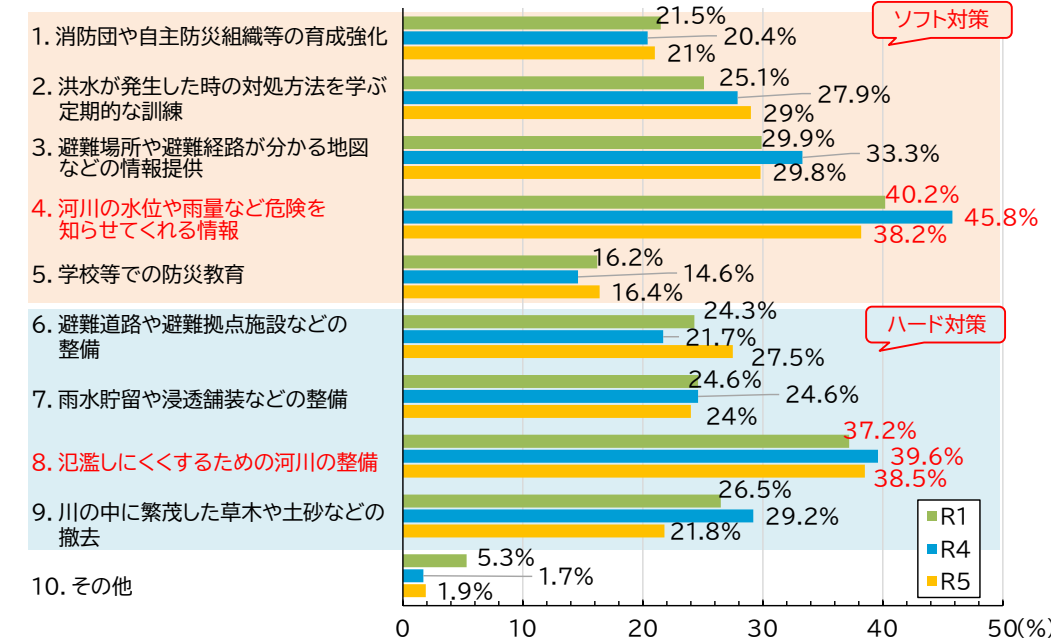
※「7.緊急速報メール」はR5より追加

豪雨災害時の情報取得手段としてよく活用しているものを教えてください。(複数回答)



アンケート【問7】

洪水から命や財産を守るため、あなたは県や市町の行政に対してどのような取り組みを望まれますか。重視して進めるべきと考えるものを選んでください。(複数回答、3つまで)

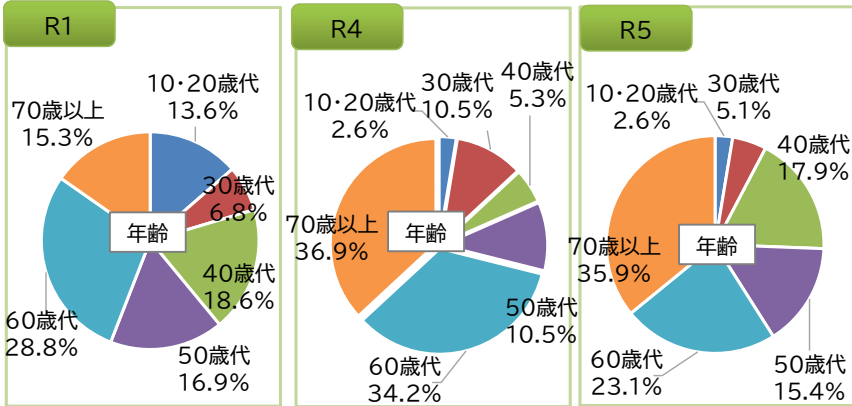


ハード対策

豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果(抜粋)

東近江圏域分のアンケート結果

	R1年度実施	R4年度実施	R5年度実施
調査時期	10月	11月	11月
東近江圏域対象者	59人	38人	39人



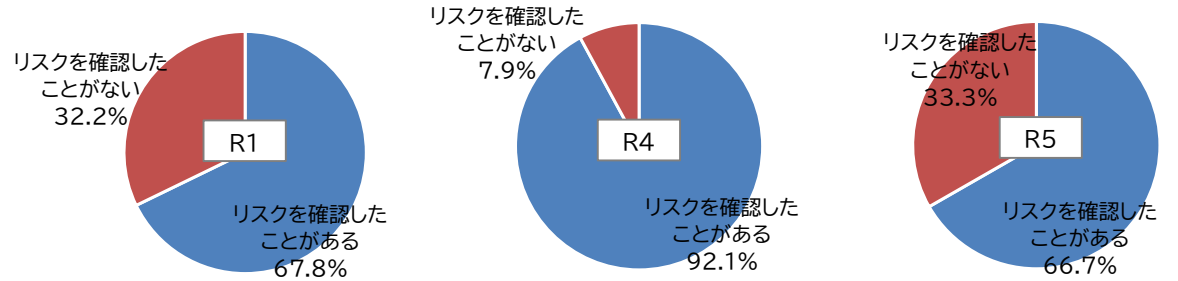
前述の滋賀県全域のアンケート結果から、東近江圏域分のみ抽出し、東近江圏域の特徴の整理を行った。その結果について、以下に整理した。

◇東近江圏域のアンケート結果の特徴

- ①リスクを確認したことがない方が自宅のリスクを確認しない理由は、「自宅は被害に遭わないと思っているから」が最も多かった。滋賀県全域では「ハザードマップ(防災マップ)を持っていないから」が最も多かった。→【問3】
- ②地先の安全度マップを知っていると回答された方の割合が、滋賀県全域の平均より高かった。→【問4】
- ③「避難指示」の発令時には避難せず、「緊急安全確保」の発令時に避難すると回答された方の割合が、滋賀県全域の平均より高かった。→【問5】
- ④そのほかのアンケート項目については、滋賀県全域の結果と同様の傾向を示した。

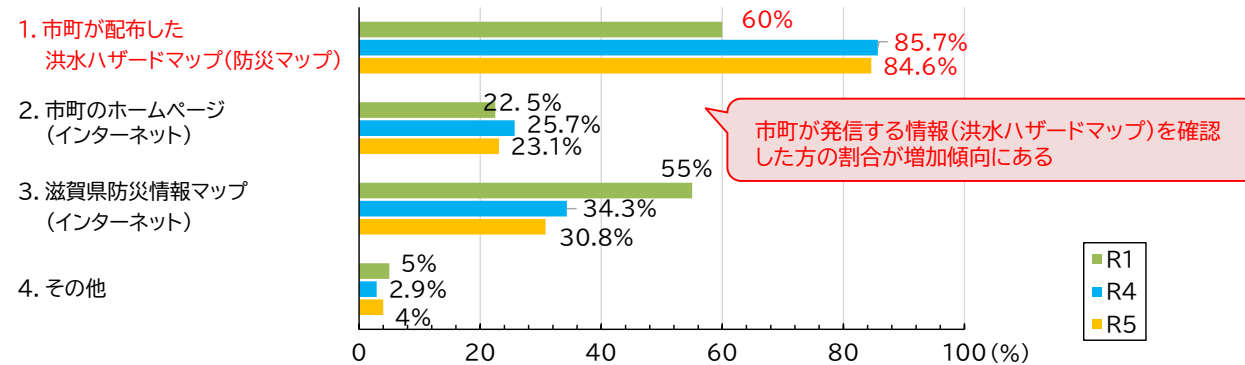
アンケート(東近江圏域)【問1】

近年、全国各地で水害や土砂災害が毎年発生しており、報道等により事前にリスクを確認するよう広報されていますが、あなたはご自宅のリスクを確認したことがありますか。(単一回答)



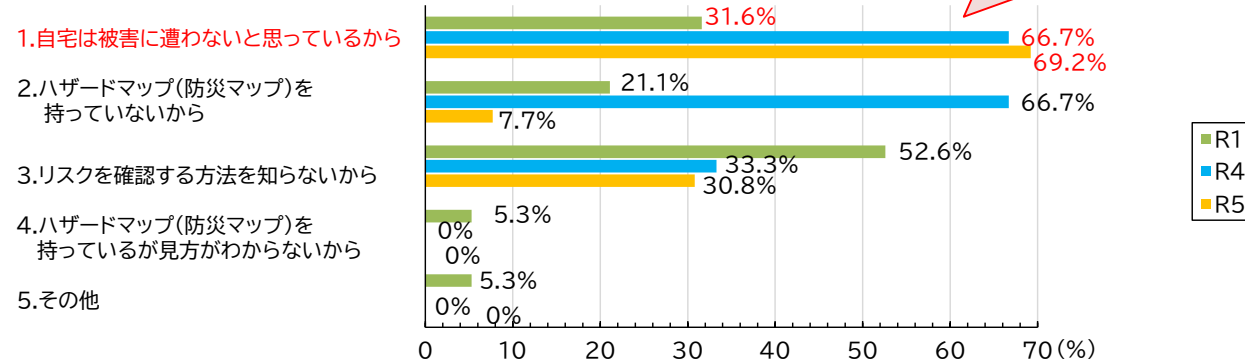
アンケート(東近江圏域)【問2】

問1で「リスクを確認したことがある」と回答された方にお聞きます。それはどのような方法で確認しましたか。(複数回答)



アンケート(東近江圏域)【問3】

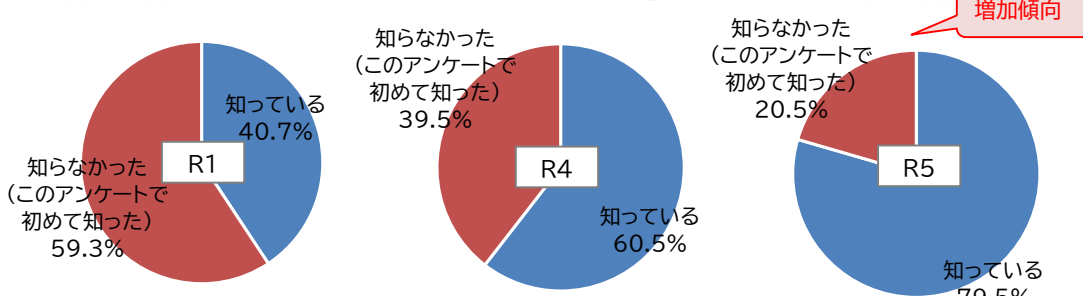
問1で「リスクを確認したことがない」と回答された方にお聞きます。自宅のリスクを確認しない理由は何ですか。(複数回答)



豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果(抜粋)

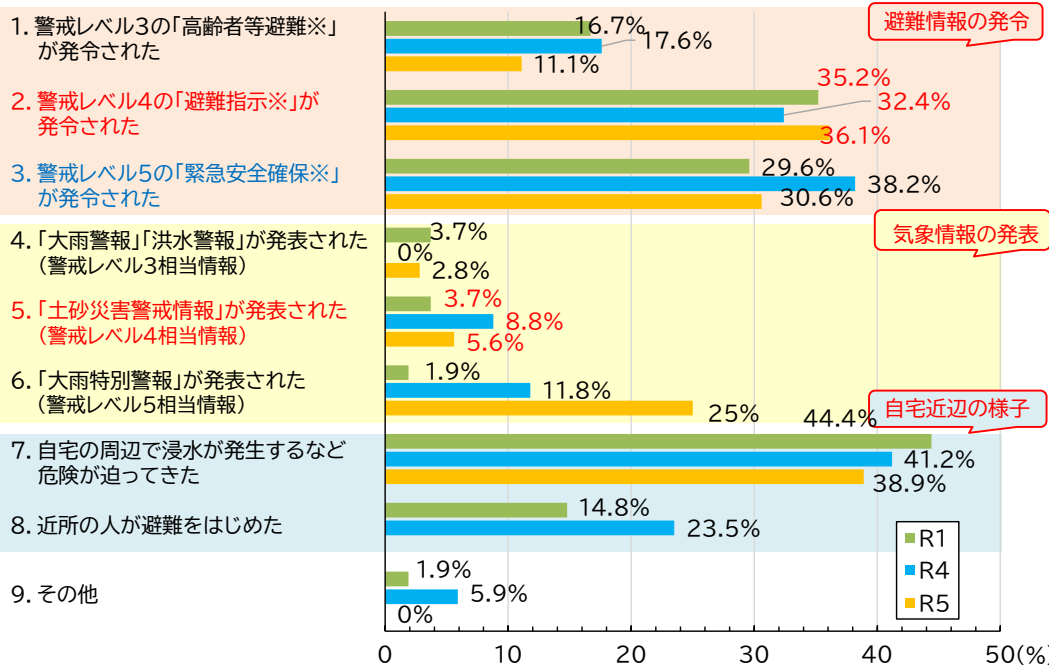
アンケート(東近江圏域)【問4】

滋賀県では、大きな河川の氾濫だけではなく身近な水路や小河川の氾濫も含めた「地先の安全度マップ」という水害リスク図を公表しています。あなたは、「地先の安全度マップ」を知っていますか。(単一回答)



アンケート(東近江圏域)【問5】

豪雨により自分の周りで水害や土砂災害の危険性が高くなってきた場合、「指定された避難場所に避難する」「家の2階以上に垂直避難する」「避難場所にこだわらず安全な場所(親戚の家等)に避難する」と回答された方にお聞きします。避難を開始するタイミングについて、お考えに最も近いものを選んでください。(複数回答)



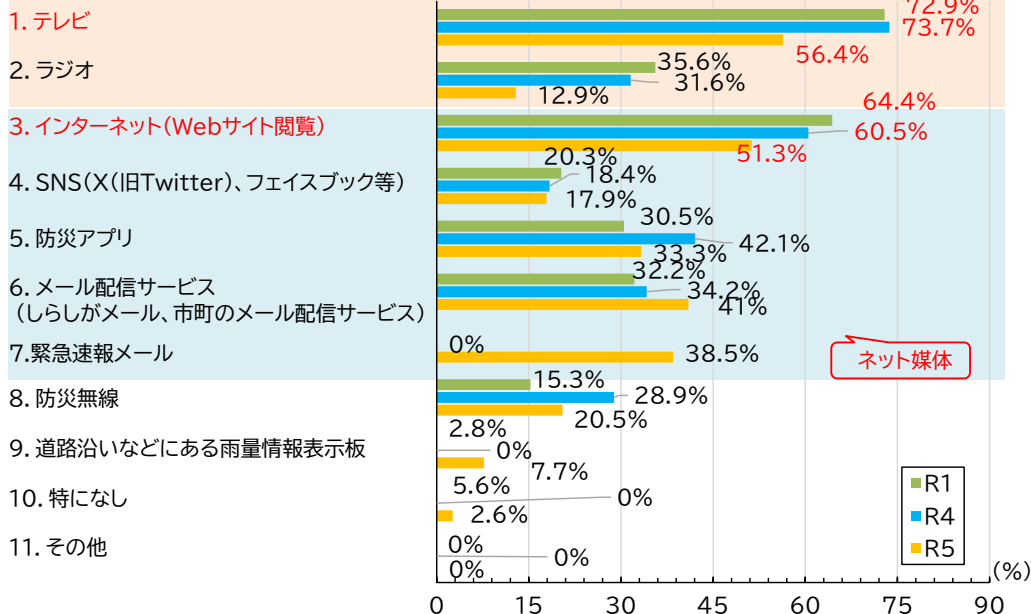
選択肢2と3両方に回答した方の割合は、R4は8.8%でR5は2.8%でした。また、選択肢2には回答せず選択肢3に回答した方の割合は、R4は29.4%でR5は27.8%でした。
 →「避難指示※」の発令や「土砂災害警戒情報」の発表をもって避難開始のタイミングを判断している方の割合および「緊急安全確保」の発令を待ってから避難すると考える方の割合は横ばいです。
 また、「避難指示※」の発令で避難するタイミングと回答した方の割合が、滋賀県全体の平均値より低い傾向を示しています。

※ R1実施時は、警戒レベル3:「避難準備・高齢者等避難開始」、警戒レベル4:「避難勧告」、警戒レベル5:「避難指示」

アンケート(東近江圏域)【問6】

※「7.緊急速報メール」はR5より追加

豪雨災害時の情報取得手段としてよく活用しているものを教えてください。(複数回答)



アンケート(東近江圏域)【問7】

洪水から命や財産を守るため、あなたは県や市町の行政に対してどのような取り組みを望まれますか。重視して進めるべきと考えるものを選んでください。(複数回答、3つまで)

